

## 第 47 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 6 月 23 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
3. 委員の出席 委員総数 8 名  
出席委員 6 名  
出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、桑田政美、高谷和彦  
中村 保、牧野直子  
以上 6 名  
放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)  
大平麻由美 (編成課長)  
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 ユー/ミー サロン  
1) 田中ゆみの You/Me Saloon  
2) 審議  
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

## 6. 審議内容

### 1) 番組

#### (1) 事務局より番組説明

今回は、今年の4月から始まりました新番組「田中ゆみの You/Me サロン」をお聴きいただきました。田中ゆみさんは、1970年代に一世を風靡した元フォークデュオ・「シモンズ」の一人です。池田市にお住まいで、池田でフォークソング同好会を主宰されています。そのお仲間をスタジオにお呼びして、ゆみさんが主体となって放送している番組です。ゆみさんのフリートーク、シモンズ時代の懐かしい楽曲、スタジオ生ライブを織り交ぜながらの60分です。

#### (2) 審議

委員 A：どちらかというと流して聴くという番組でした。オープニングトークでマレーシアへ旅行に行かれたお話をされてましたが、できれば、あちらでの音楽の話題があってもいいのかなと。あと、「カントリーロード」を生演奏されていましたが、1970年代というのは、フォークソングの中でもいろいろな時代背景があるので、そういうことにも触れてもらえるといいと感じました。この曲が生まれた背景などを聞かせていただくとひと味違って、聞き慣れた曲でも「そういう意味だったのか」ともう少し深まるかな、と。

委員 B：田中さんのお声の状態が少し気になりました。シモンズの昔の歌はさすがに良かった。イメージ的にはこういう番組は、同好会の紹介の一つとしてやっても面白いかもしれない。フォーク同好会の提供としてのスポンサー番組だったら一番スッキリ聞けるのではという印象です。

委員 C：タイトルどおり「サロン」という雰囲気は若干あったかなという風に思いつながりながら聴いていました。音楽番組なのか、トーク番組なのか、トーク番組としたら、みなさんのおしゃべりと田中さんのおしゃべりが、どんな関係なのかあまりピンとこないまま聴いていました。音楽の部分では、

時代背景を紹介しながら進めていただければ、より分かりやすい番組になるのではと思います。

委員 D：シモンズが全盛だったのは僕らの育った時代ですから、番組の内容を期待して聴きましたが、フォーク同好会の発表の放送番組であると言うのならそれはそれでオッケーなんですけれども、もっと田中さんが責任持つ内容にするか、どちらかだと思います。

委員 D：僕はまんま「ど世代」なので、もう懐かしいの一言。オープニングテーマ曲の「恋人もいないのに」で「懐かしい。出たー」という感じで聴き始めたんですが、途中から「？」という感じになりました。要は「サロン」なので、フォーク同好会のその場にマイク持ち込んでいるような感じでいくのか、本当にフォーク世代の僕らをターゲットに、懐かしい曲とかその頃の時代で「あったあった」みたいな感じで共感を得ながらいくのか、定まっていない印象です。フォーク同好会の発表の場としてやるならば、それはそれで良いと思いますが、消化不良になりました。「この曲は安井かずみ作詞です。この曲は西岡たかし作曲です」って言ったら「ああ、あったなあ」という感じで、固有名詞なり何なりは、すごく楽しめる感じだったんですけど、番組そのもののねらいがちょっと分かりませんでした。

委員長：歌を聴くと「なるほどな」という懐かしさと、「さすが、上手やな」という感覚はしました。スタジオの音を生で聴けたのは、ものすごく得した感じになりました。素人のかたの歌が入ってきて、全体的なバランスとしては違和感がありました。

委員 B：例えば、「滝ノ道ゆずる」の歌をつくられたかたについては、田中ゆみさんが「もう少し変化をつけたらよくなる」と感想をおっしゃっていますが、例えば、「スローテンポになったところを思い切ってこうしてみたら」と自分が歌ってみせるとか、ちょっと教室っぽくなってしまいかもかもしれませんが、お互い褒め称えているばかりだとそれが全体として物足りない、という印象になります。ワンポイントアドバイスするとか…

委員 B：要するに「You/Me サロン」としてやるのか、同好会の発表の場としてやるのか、スポンサーとしての提供番組なのか、というところをはっきりさせた方が良くないでしょうか。コメントを含めてね。最初に「これはフォーク同好会で楽しんでいるのをここでも歌っていただきます」を言えば…。要するに何を目的にするかというのを明確にしていかないと聴く方は違和感があるんじゃないかと思います。

委員 D：発表の場を20分くらいにして、上手く構成して、そこにトークをきちっと僕らが感じたような時代のことをお話しただいて。

委員 B：市民がおまかせでつくってる番組とは違う点を出さないと。せっかく田中ゆみさんを起用しているのだから。

委員 D：番組の内容とは違いますが、新しい番組の宣伝がホームページ以外で出ることには無いんですかね。上手く。「元シモンズ」とか、写真を入れるとか、ウリであれば「自信番組！」とか、星マークをつけるとか…何か工夫があると。

委員長：それでは、ほかの番組などでみなさんのご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

委員 A：学校の校歌を放送している時間帯ありますよね。校歌というのはずっと歌うので、いくつになっても子どものときに歌っていた校歌がもたらす影響は成長過程において大きいな、と思います。私も北小の校歌が流れると「あっ」と。絶対消しません、最後まで車止めてでも聴いてて。校歌を流していただいているのは私は良いなと思います。

委員 A：災害時に、タッキーも「ラジオを聴こう」というアクティブなコマercialをすることが必要だと思います。

委員 D：各パーソナリティの紹介動画を作ったり、イベント会場でアナウンスする場合は枕詞のトークを「タッキーの〇〇」みたいに統一しておく、ということだけでもだいぶ違う。

委員：20周年の企画はもうできているんですか？

事務局：まずは今年12月20日のチャリティコンサートを成功させるべく動いています。来年の20周年は「災害時にタッキーを聞いて」と、災害時＝タッキーを知っていただく取り組みをしたいと考えています。

委員 B：お金がかからない方向で、例えばどこかと共同で、タッキーが主体になってイベントを組むとか、タッキー主体というのは、お金ではなくコーディネート。どうしたら市民にタッキーを認識してもらえるか、チームをつくって、場合によっては外部からも参加してもらって検討する、というのも一つの方法かもしれない。

委員長：20年やってると、ファンも増えていく変わりにみなさんの聞き方も厳しくなってきたような気がします。それだけ関心をもっていたという事なんでしょう。どうも長時間ありがとうございました。

一同：ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 26 年 6 月 23 日

箕面FMまちそだて株式会社 番組審議会